



9月6日～13日まで  
蔵書点検のため休館します。



## 雑誌スポンサー企業を ご紹介します！

スポンサー企業

雑誌名

株式会社フヂイ	日経トレンドイ
大手町会館	婦人公論
有限会社ワシントン靴店	旅の手帖
有限会社香貫石材工業	レタスクラブ
生活クラブ生活協同組合静岡	たまごクラブ
	母の友
沼津ヤナセ株式会社	CAR GRAPHIC
	LEVOLANT
	driver
フルールオオトミ	フローリスト
夢入(ゆめいる)	月刊クーヨン
鶏林(けいりん)食品株式会社	NHKきょうの料理
興亜工業株式会社	Newton

(敬称略) 2021年8月1日 現在

雑誌スポンサー企業のご協力によって  
図書館雑誌サービスの充実を図っています。



## 雑誌スポンサー制度とは？

スポンサーとなる市内の事業者や団体等に雑誌の年間購読料を負担していただく代わりに、新刊雑誌のカバーおよび雑誌架にお名前や広告を掲載する制度です。  
広告物を掲示した雑誌は、来館者の目に触れやすいよう、雑誌閲覧コーナーの入り口付近(一階一般貸出カウンター前)に排架しています。

随時、スポンサーを募集していますので、お気軽にお問合せください。

### 『もったいないばあさん』 1階児童 E/シンジ

真珠 まりこ//作 絵 講談社 2004.10



「もったいない」は昔から日本にある考え方です。1つのものを長く使う、使い方を工夫する、自分に合った量を使うことで、地球にやさしい生活を送ることができます。この絵本は、その入り口にぴったりです。

身近な「もったいない」から実践していこう、と思わせてくれます。まずはごはんの食べ残しをなくすことから！

### 『わたしのとくべつな場所』 1階児童 E/ピンク

パトリシア マキサック//文 ジェリー ピンクニー//絵  
藤原 宏之//訳 新日本出版社 2010.9

質の高い教育は、差別や格差を解消して初めて実現します。肌の色が違う少女パトリシアが、差別を目の当たりにしながら図書館に行くお話です。誰でも利用できる図書館が希望をもった場所として描かれているのが印象的です！みんなが平等に本を読んで学べる世の中になることを願っています。



## SDGsって なんだろう？

～身近な絵本から  
考えてみよう！～

### SDGs (エスディーゼーズ) という言葉を聞いたことがありますか？

貧困や格差、感染症、気候変動、エネルギー問題…人類が直面している数多くの課題を世界中の様々な立場の人たちが話し合って解決法を考え、2030年までに達成できるように具体的な目標を立てました。それがSDGs (持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals) なんです。

SDGsを未来への指針にして、2030年までによりよい世界になるように私たちもできることをはじめよう！



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

## 地名の由来 (その21) ー旧原町地区ー

原は愛鷹山南部の沼川上流左岸に位置し、駿河湾に面した東西に長い地域です。原という地名は浮島沼が作りだした浮島ヶ原を略したものといわれています。江戸時代に入り、東海道往還が整備されていく過程で、浮島沼周辺の土地が、徳川幕府の奨励により次々と新田開発されました。原新田・一本松新田・助兵衛新田・植田新田は当時の開発新田です。明治22年(1889)町村制の施行により、原宿(東町と西町)と大塚町、一本松新田、助兵衛新田(桃里)、植田新田が一つになり原町となりました。このとき原宿の呼称を町名にしたといわれています。昭和30年(1955)浮島村の一部と合併しました。昭和43年(1968)沼津市と合併し、旧原町の大字である大塚・原・一本松・桃里・植田は、沼津市の大字となり

現在に至ります。



葛飾北斎「東海道五十三次十四原」



初代広重・三代豊国「双筆五十三次はら富士の白酒」



歌川広重「東海道五十三次之内原 朝之富士」

まだ飯も食わず沼津も打ち過ぎて  
ひもじき原の驛に着きけり  
今食ひし蕎麦は富士ほど山盛り  
すてし心もうさしまが原  
東海道中膝栗毛



国芳・鶴屋喜右衛門 葛屋吉蔵『「東海道五拾三駅三宿名所」のうち「原 吉原 蒲原」』(The British Museum所蔵)「ARC浮世絵ポータルデータベース」

寛永10年(1633)東海道五十三次の宿駅として設置された。江戸幕府の直轄領で、葦山の江川代官の支配下にあったが、慶応4年(1868)駿府領となった。当初、原宿は海岸寄りの松林近くにあり、しばしば高波の被害を被った。幕府は慶長14年(1609)街道を北寄りに付け替えたため、集落も移転した。本陣は西町に1軒、脇本陣は東町に1軒、旅籠屋は25軒ほどの小宿であったが、富士を間近に望む原宿は、白隠禅師の生誕の地であり、また帯笑園も名園として知られていた。

**大塚(おおつか)**：大きな塚があったことから付けられたといわれる。**原(はら)**：東町(ひがしちょう)・西町(にしちょう)・新田(しんでん)・六軒町(ろっけんちょう)からなる。浮島沼に接した場所で浮島ヶ原に由来して付けられたといわれる。**一本松(いっぽんまつ)**：江戸時代に大橋五郎左衛門が開発した土地で、この地に一本松があったことから一本松新田といわれた。**桃里(ももざと)**：江戸時代に鈴木助兵衛によって開発されたことから、助兵衛新田と称されてきた。明治になり地名が好ましくないとの理由で、明治41年(1908)桃の栽培にちなんで桃里と改称された。**植田(うえた)**：この地の開発につとめた植田三十郎の名をとって植田新田と呼ばれるようになったといわれている。



## 沼津市在住の作家 鈴木英治・秋山香乃ご夫妻が描く、今川ストーリー

乱世を生きた父と子、今川義元と氏真をつなぐのは……

今川家に全盛時代をもたらした「戦国三代文化」の一つ今川文化を開花させた義元。桶狭間の戦いで父義元が討死、衰退していく戦国大名今川家最後の当主氏真。軍師として義元を支えた太原崇孚雪斎(たいげんそうふせっさい)と、義元の兄であり氏真の叔父 象耳泉英(しょうじせんじょう)。この二人によって父と子がつながっていく……。

「本当の望みはなんじゃな。」と問う雪斎、それに答える氏真。

「他者のものを奪い合わぬ世の中になればよいと……わたくしは、泰平の世が望みでございます」

「昔、御父君に同じ問いをいたしたらう、同じ答えを言われたものじゃ」父義元を生まれて初めて身近に感じる氏真。



父義元は僧侶として過ごした方がよほど性に合っていたのではないかと「父は、駿河に行きたくなかったのではありませぬか」と問う氏真に、泉英は「弟は『天下静謐』を胸に秘め、今川家を潰してしまうかもしれぬ覚悟の許、駿河入りをしたのです」と伝え、さらに義元の手紙を見せる。そこに書かれていたのは……氏真は父の思いを知る。

『氏真は今川家だけに限らず、この義元の真の跡継ぎで御座候由、家督を譲り申し候』(『氏真、寂たり』より)

## たのしい夏のイベント

### 夏休み子ども講座

自由研究 好きを学びのきっかけに  
～宝塚歌劇の研究が本になるまで～

自分の好きなこと、興味のあることをテーマに  
自由研究を愉しんでみませんか？

講師 永井咲季さん(静岡県小学校教諭)  
著書に「宝塚歌劇 <なつかしさ>で  
つながる少女たち」(平凡社)がある。

日時 8月7日(土) 13:30～15:00

要申込

### 夏休み子ども上映会

8月の毎週水曜日 2回上映

午前の部10:30～ 午後の部14:30～

上映作品

「はらぺこあおむし」「マダガスカル2」  
「チップとデール」「おさるのジョージ」

ほか日替わり

対象 中学生まで(保護者同伴可)

詳しくはチラシ、図書館ホームページ等をご覧ください。  
マスク着用や検温など、感染予防対策にご協力ください。

要申込